

石井露月 （いしい るづき）俳人。明治八年五月十七日秋田縣生れ、昭和二年九月十八日歿（一八七一—一九三六）。本名筋治。別號南廬道人、女糸木山人、柿八、李花園、盤虎、芥郵、露月山人、露月生。明治二十四年秋田中學校中退、二十六年、京、翌年正岡子規を知り、新聞『日本』記者等を経て三十一年醫師資格取得。歸郷して島田庄吉等と俳談『俳星』を創刊、東北能文體小重を成す。

著書 （著文）『嚴下滴泉』（合著・右橋翠太郎編、明治二十一年九月十八日大學館「名家文庫」）、『せみじぐれ・春暉第一』（合著・武定鉄七編、明治二十五年八月二十五日大阪・金屋文通書店）、『秋田文名蹟々』（合著・青柳有美編、明治四十一年八月八日秋田・大蔵商會）、『露月詩集』（昭和六年十一月一日秋田・石井公次刊）、『露月文集』（昭和十九年）（昭和十年十一月十日文川草書店）等。

文献、福田清人著『石井露月の生涯』（昭和二十四年二月）、十五日大日本雄辯會講談社）、加賀谷一雄著『露月の俳諺と俳句の研究』（昭和二十六年一月）、「秋田・秋田俳句懇話會」等。

